

取組2 区民と区、区民同士がつながる情報受発信の仕組みをつくります

区民と区との双方向のやり取りを充実し、区民がより区政に参加したくなるよう環境を整えます。区政や練馬区に関する様々な情報を、区民の視点から積極的に分かりやすく発信し、区政への関心を高めます。

① 区民の“気づき”を区政に活かします

平成28年10月に区民による「ねりまちレポーター」を創設しました。道路や公園遊具の破損などに気づいた際にスマートフォンなどで撮影して投稿し、区は迅速に改善するシステムです。改善結果は専用ホームページで公開しています。

② 区民が主役の広報をさらに展開します

誰もがワクワクしながら区の広報に参加できる機会を増やすことが重要です。引き続き区民とともに積極的に広報活動を展開していきます。

フェイスブックを活用した練馬の魅力紹介サイトをより充実し、区民PRサポーターがより参加しやすい環境を整えます。

独立70周年記念事業は、それ自体、「よりどりみどり練馬」キャンペーンの集大成として位置づけます。

③ 区民が知りたい情報を入手し横断的につながりやすい仕組みをつくります

区内の地域活動や生涯学習、文化芸術に関する事業、施設などの情報を集約し、区民が「活動したい」「学びたい」ときに必要な情報を入手できる生涯学習・文化芸術サイトを構築します。区民がこのサイトを活用して活動の情報を発信し、活動が横断的につながることができるようにします。

また、高齢者などが、医療や介護に関する情報をまとめて見られる医療介護情報サイトも開設します。

区ホームページは全面的に見直し、知りたい情報がすぐに分かるように、より検索しやすく使い勝手の良いものにします。評価機能も活用し、継続的に改善していきます。

④ 発行物等をより区民に役立つものにします

すでに「練馬区わたしの便利帳」は見やすくしました。区の様々な刊行物を、「手に取りたくなる」「知りたい情報がコンパクトで分かりやすい」など、区民の視点で内容を整理・統合し、より役立つものにします。

区の歴史を記録した区史や貴重な写真資料などをデジタル化して、ホームページで公開します。